

## ブレメンへの道（県からの提案）



### 地域住民・市町村が主役となるまちづくり

これまでの国（中央政府）の縦割り型・既製服型行政から、地域住民や市町村が自分の好きなデザインや色、布地を自分で選び、自分が最も気持ちが良い服だと感じることできる横断型・オーダーメイド型行政への転換へ向け、地域住民と市町村が主役となる時代です。

### ○ 県民の手による施策づくりシステムの構築を推進

地域の中で（県民、市町村、企業、住民活動団体・NPO等）全ての人が能力を発揮し、調和しながら生活できるよう、地域に、真に自立した新しい取り組みが活発に行われる地域社会の実現とそのためのシステムづくりを後押しします。その手法の一つとして、ブレメン研究会の活動を基盤として、地域住民をはじめとした民間・市・県を交えた研究会の立上げを提案します。

### ○ 「小域福祉フォーラム」設置を支援

生活圏（小学校区等）を対象として地域のことを考え、市や県に様々な提案をする継続的組織である「小域福祉フォーラム」の設置を支援します。そこでは、地域福祉の担い手だけでなく、NPO、医療機関、生協など、色々な分野の方々が、様々な視点から議論を重ねていきます。

### ○ 地域に貢献できる県営住宅の推進

市と連携しながら、研究会や小域福祉フォーラムの中で議論を重ねてきた意見（地域のニーズ）を可能な限り反映させ、地域に貢献できる県営住宅を推進します。

### ○ 県営住宅を核とした小・中学校区の面的(ソフト・ハード)整備の推進

建物の上下方向や地域の面的な拡がりの中で、住宅も交流の場となり、デイサービス・保育機能等の地域生活に必要なサービス（あなたに合わせた星の数ほど事業）が創出され、学校・公園など公的施設の活用や農業者・漁業者による生産物の販売、また、まちにおける企業連携やまちのバリアフリー化等、様々な分野がクロスオーバーした地域社会を推進します。

ゴール

ブレメン型地域社会の実現

